

東北大学金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学
国際研究センター研究棟の排気筒倒壊について

1 発災日時

令和2年4月13日（月） 14時55分頃（発見時刻）

※県への第一報は15時43分

2 発災場所

東北大学金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター
（大洗町成田町2145-2）

研究棟（核燃料物質使用施設及びR I 使用施設）排気筒（管理区域）

3 状 況

（1） 本日（4/13），14時55分頃，暴風雨の影響により，東北大学金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター（大洗町）研究棟の排気筒が倒壊していることを，同センター職員が発見。

倒壊確認後，直ちに施設内のドラフトチャンバー※の排風機を停止。

※ 局所排気装置の一種

なお，先月23日の実験以降，核燃料物質及びR I を使用した実験は行っていない。

本件は，原子力安全協定第17条に規定する事故・故障等に該当するため，県政記者クラブに対して情報提供します。

現在，倒壊部に対する応急対策を実施済。

（2） 放射性物質の漏えい； なし

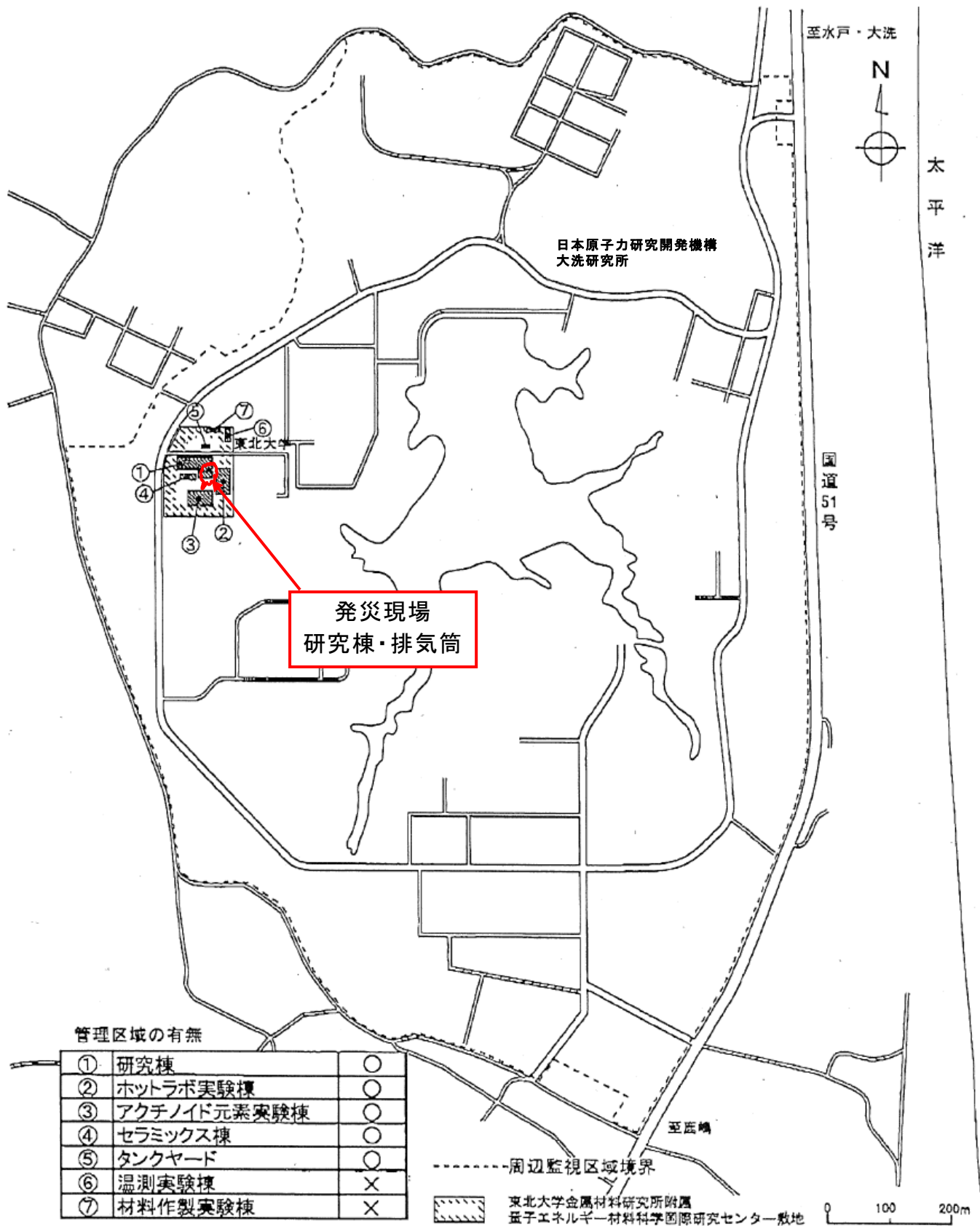
（3） 環 境 へ の 影 響； なし

（4） 人の汚染・被ばく； なし

【添付資料】

東北大学金属材料研究所附属
量子エネルギー材料科学国際研究センター 位置図

問合せ先； 原子力安全対策課
担当； 市村，山口
内線； 2911
外線直通； 301-2916



東北大学金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター付近図